

「木育ボランティアのおじちゃん、またよろしくお願いします」



年長児 10 人の箱いすづくりが始まりました。7 月 8 日と 9 日の両日には、猛暑の中にもかかわらず、木育ボランティアとして 11 人の地域のおじさんが来てくださいました。子どもたちとペアになって、釘打ちやのこぎりを使った作業を助けていただきました。もちろん作業は子どもも大人も真剣ですが、作業の合間や終わった後にはお互いにこやかにふれあっている場面が多くあり、この活動の意義がどんどん膨らんでいく手ごたえを感じました。子どもたちも「おじちゃん、……。」ではなく、「武井さん、また次もお願いします。」と言うように名前を呼んでお願いしていました。おじちゃんたちも「こんなお願いをされたら来ないわけにはいかないよね。」とうれしそうに笑ってみえました。



「更生保護女性の会」読み聞かせ（7 月 11 日）

今回は「なかよし組（3・4 歳児）」でした。午前にはプール遊びもあって、半分の子はお昼寝に入っていました。参加した 5 人は澄んだ目をキラキラさせて聞いていました。3 冊目に「手をつなごう」という本の最後の場面で、長井さんと一人の子どもが手をつなぎました。その後です。長井さんが「みんなで手をつないでみましよう。」と呼びかけ、その場に



いたみんなで手をつないで輪になりました。それだけでも 5 人はニコニコ顔でしたが、手をつなぐだけでなく手遊びをしたり、童謡を歌いながらグルグル回ったりと、眠気も吹っ飛ばす楽しい時間となりました。

